

第4会場●2F 自由研修室

Lifelong Learning

■司 会／林 秀行 熊本県教育庁社会教育課 社会教育主事
久保ひろみ 福岡県教育庁京築教育事務所生涯学習課 主任社会教育主事

1 「ふるさとえびの塾」塾生を母体としたグリーンツーリズム運動 10:45～11:10

稲泉 元司（宮崎県えびの市） ふるさとえびの塾 塾生

2000～2002年「ふるさとえびの塾」で地域おこしを学んだ28名の塾生がまちづくりの挑戦を開始した。具体的なテーマは、「地域資源を再発見する」、「特産物の直売・流通を工夫する」、「宿泊と食を契機とした交流を創造する」の3点である。経済の専門家も招いて月1回の学習会を実施し、合わせて「グリーンツーリズム」の試行を始めたところである。

2 高齢者学習事業「茶山塾」と浦添小学校の連携 11:10～11:35

－高齢地域の学社連携とまちづくり－

大濱 勝彦（沖縄県浦添市） 浦添市茶山自治会 会長

目標は「この地に住んでよかったまちづくり」を展開することである。活動の中心は茶山自治会が創設した「茶山塾」である。塾の活動は主として、高齢者を対象とするが、学習の中身と方法は地域社会の形成に視点をおき、高齢者の生き甲斐と自立を目指すと共に、小学校とも連携を深めて青少年の健全育成にも繋げている。「ホテルを飛ばそうまちづくり」の事業はそうした中から生まれたものである。

3 広島県立生涯学習センターの新しい試み 11:35～12:00

－ボランティアとの協働と活動支援－

葉名 雅之（広島県広島市） 広島県立生涯学習センター 主任専門員

広島県立生涯学習センターが市民との協働を目指して始めた新しいボランティア支援の試みである。支援のシステムとして「体験活動ボランティア活動支援センター」を立ち上げた。目的は体験活動としてのボランティア活動を支援し、青年の地域貢献活動の促進とネットワークの形成である。具体的には、青年の地域貢献活動の実態調査、活動奨励のキャンペーンを行なった。青年企画ボランティアによる実践交流会も開催した。

4 総括討論 12:00～12:30